



佐渡を世界遺産に

めざせ!世界遺産登録!!『佐渡島の金山』

金の道

SADO TO EDO GOLDEN PATH

フォーラム

佐渡から江戸へ
金がつなぐ歴史の道

日時

1/28 日

13:00~16:00(12:30開場)

会場

東京交通会館

12階第一会議室A

東京都千代田区有楽町2-10-1

定員

150名様

参加費無料

先着順

江戸時代、佐渡で産出された金や銀は、街道を通り江戸まで運ばれました。かつて佐渡の金銀が通った「御金荷の道」(金の道)の沿線には宿場町が形成され、そのなごりを現代にとどめます。世界遺産登録への期待が高まる「佐渡島の金山」の価値や魅力について考えるとともに、「御金荷の道ウォーク」を実施した地域で街道の歴史を学び、後世に伝えようと活動する地域との連携を探るフォーラムを開催します。

スケジュール

13:10~14:10 基調講演

鉱山と世界遺産

—佐渡との比較において—

講師

国際記念物遺跡会議ICOMOS名誉会長 九州大学名誉教授

河野 俊行氏

14:10~14:25 金の道紹介

14:35~15:55 パネルディスカッション

金の道から広がる地域の輪

パネリスト

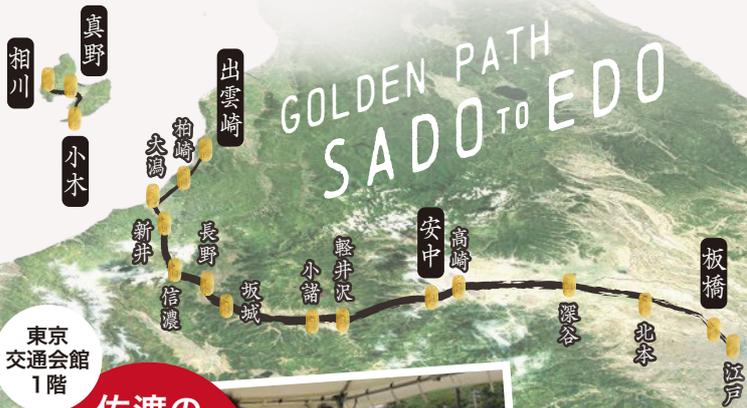
(一社)佐渡を世界遺産にする会副会長 河野 雅利氏(新潟県佐渡市)
北国街道の手をつなぐ会会長 三輪 正氏(新潟県出雲崎町)
碓氷関所保存会事務局長 中島 徳造氏(群馬県安中市)
板橋史談会特別会員 吉田 政博氏(東京都板橋区)

コーディネーター/新潟日报社執行役員東京支社長 鶴間 尚

電車でお越しの方

JR

山手線、京浜東北線:有楽町駅(京橋、中央口=銀座側)徒歩1分
有楽町線:有楽町駅[D8]徒歩1分、銀座一丁目駅[2]徒歩1分
丸ノ内線:銀座駅[C9]徒歩3分 など



東京交通会館 1階

佐渡の特産品を販売

10:00~17:30

10月1日 出雲崎で行われたPRブースの様子



郷土芸能の春駒も登場

金の道公式サイト



主催 新潟県 佐渡市

(一社)佐渡を世界遺産にする会
佐渡を世界遺産にする新潟の会
佐渡を世界遺産にする首都圏の会

運営 新潟日报社

金の道

SADO to EDO GOLDEN PATH

フォーラム

登録フォーム



応募
方法

Web

右記の二次元コードにアクセスして登録フォームよりお申し込みください。

FAX

参加者の氏名、年齢、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレスを記入の上、下記までFAXをお送りください。

金の道事務局(新潟日報社統合推進センター内)
FAX:025-385-7476

締め
切り

1月17日(水)

※定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます。
※参加者には開催1週間前をめどに参加証を郵送します。
※寄せられた個人情報は、参加証発送のみに使用します。



講師プロフィール

国際記念物遺跡会議ICOMOS名誉会長
九州大学名誉教授
河野 俊行(こうの・としゆき)氏

京都大学法学修士。司法試験合格。九州大学名誉教授、国際記念物遺跡会議ICOMOS名誉会長。ICOMOS執行委員会委員(2011-2014年)、同副会長(2014-2017年)、第8代会長(2017-2020年)を歴任。国際比較法アカデミー正会員。国際商法・消費者法アカデミー理事を務める。



「佐渡島の金山」世界文化遺産登録推進事業

金の道

SADO to EDO GOLDEN PATH

とは

「金の道」は佐渡島の金銀を江戸まで運ぶルートです。相川—小木、そして佐渡海峡を挟み、出雲崎港に陸揚げされてからは主要ルートである北国街道、追分宿(現在の軽井沢)から中山道を経て最終地江戸日本橋までを結んだ道が「金の道」です。世界遺産登録を目指す「佐渡島の金山」は徳川幕府の財政を支えました。

「御金荷の道ウォーク」の様子



9月23日、24日
佐渡市

当時の装束をまとった参加者



10月1日
出雲崎町

良寛堂の前で記念撮影

【開催中】抽選で豪華賞品が当たる!
DIGITAL STAMPRALLY

デジタルスタンプラリー



公式サイトにて情報随時更新中!
<https://sado-g-road.jp>



「金の道フォーラム」FAX専用参加申込書

金の道事務局(新潟日報社統合推進センター内) FAX.025-385-7476

下記項目をご記入のうえ、FAXにてお送りください。
【申込締切】1月17日(水)

氏名(ふりがな)

年齢

歳

ご住所(〒)

電話番号

メールアドレス